

第43回 全国精神保健福祉業務研修会 in 和歌山 「自治体職員のつながりが紡ぐ、精神保健福祉の未来」

日程：平成31年1月26日（土）・27日（日）

会場：県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛（和歌山市手平2丁目1-2）

1日目

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

講演「精神保健・福祉・医療施策の動向と行政の役割（仮）」

講演「実践を裏付けるデータを活用した地域精神保健福祉の協議に向けて」

基礎講座「困難なケースに向き合うための力を養う」

2日目

分科会1 講演「家族支援の再考を通して今行政が求められる支援を考える」

シンポジウム「家族の力を生かす支援、家族との協働の取組」

分科会2 実践報告「中核市等保健所の取組とやりがい～全国のなかまとの出会い～」

分科会3 実践交流「孤立する当事者・家族。多機関・多職種チームで支える精神保健

アプローチ～私たちがつながる！住民とつながる！地域が変わる！～」

分科会4 実践報告&シンポジウム「ガイドラインから考える私たちの専門性」

定員：300名（先着順）

対象：精神保健福祉業務に従事する自治体職員

参加費：会員4,000円 非会員8,000円（資料代含む）

申込期間：平成30年11月19日（月）～平成30年12月21日（金）必着

※定員に達し次第、締め切ります。

問合せ：研修会事務局 E-mail kensyu@zenseisou.ciao.jp

主催 全国精神保健福祉相談員会

後援（予定） 厚生労働省 和歌山県 和歌山市 全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

1日目 1月26日(土) 受付開始 9:20~ 開会式 10:00~ (1階 大ホール)

講演(定員300人)

会場 1階 大ホール 10:10 ~ 12:00

講演「精神保健・福祉・医療施策の動向と行政の役割」(仮)

講師 寺原 朋裕(厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課 課長補佐)

最近の精神保健福祉施策の動向や今後の方向性について御講演いただく予定です。

会場 1階 大ホール 13:00 ~ 16:30

講演「実践を裏付けるデータを活用した地域精神保健福祉の協議に向けて」

講師 藤井 千代(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部長)

山之内 芳雄(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 所長補佐)

同 精神医療政策研究部 部長 脳病態統合イメージングセンター(IBIC) 副センター長(併任)

平成30年度から、新たな医療計画・障害福祉計画に基づいた施策の推進、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議、措置入院者の退院後支援の実施等、地域関係機関とともに取組を進めていくことが自治体に求められています。私たちの実践や地域の精神保健医療福祉の課題について、新630調査等のデータを地域の体制整備や協議の場等にどのように活用すればよいのでしょうか。今後の施策展開に向けた自治体職員の取組について、今年度末で一区切りを迎える「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」(障害者政策総合研究事業)の研究成果もあわせ、講義をもとに、会場全体で精神保健福祉の未来を考えていきたいと思ひます。

基礎講座(定員90人)

会場 12階 会議室 1201 10:15 ~ 16:30

※当日は、はじめに大ホールで参加受付をしてください。

開会式(10:00~ 大ホール)終了後に開催します。

基礎講座「困難なケースに向き合うための力を養う」

講師 岡本 秀行(川口市保健所(埼玉県))、中村 征人(愛知県瀬戸保健所)

近年、自治体における精神保健福祉相談は複雑かつ多岐にわたっています。それゆえ「近隣住民から心配や苦情が寄せられる」、「当事者と家族との意向が乖離している」、「必要な支援を求めない」、「支援者側が振り回されている」など、対応に苦慮するケースと出会う場面もあろうと思ひます。

本研修では、精神保健福祉業務に就かれて年数が短い初任者を対象に、日常的に出会う頻度が高いケースに対する相談援助やケース会議の技術、さらに地域を創るための基礎的な方法について学びます。そして、日頃の業務を分かち合い、自治体職員の立場を保ちつつ精神保健福祉相談に向き合う力を養います。

2日目 1月27日(日) 開場時間 9:00~ 午前・午後の分科会選択可

分科会1(定員300人)

会場 12階 会議室 1202 9:30 ~ 11:30

講演「家族支援の再考を通して今行政が求められる支援を考える」

講師 佐藤 純(京都ノートルダム女子大学准教授)

平成29年精神に障害がある当事者を家族が監禁していた事件が発生し、家族支援に関わる行政機関は大きな衝撃を受けました。講演では、改めて行政機関に求められる家族支援とは何か、ケアラーをどうとらえるか、親以外の立場の家族への理解、当事者と家族を共に支援する技術等について取り上げます。

会場 12階 会議室 1202 9:30 ~ 11:30

シンポジウム「家族の力を生かす支援、家族との協働の取組」

シンポジスト 篠崎 安志(横浜市西区役所(神奈川県))、西邑 章(京都府丹後保健所)、

木本 達男(岡山市こころの健康センター(岡山県))

家族の高齢化を受け、家族会の組織育成や家族の力を生かした支援の在り方が課題になっています。若年の家族が自主的に学ぶ場を作ったり、自立支援協議会で関係機関を巻き込んだ家族支援の在り方、メリデン版訪問家族支援の実施状況、家族会が心理教育を活用できるような支援した試み等各地での取組を紹介しします。

分科会2 (定員50人)	会場 2階 会議室 201 9:30 ~ 11:30
	<p>実践報告・意見交換「中核市等保健所の取組とやりがい～全国のなかまとの出会い～」</p> <p>報告者 「中核市保健所精神保健業務の役割と可能性～業務移管前、移管後、そしてこれから～」</p> <p>宮本 佳寿子 枚方市保健所 (大阪府)</p> <p>「中核市保健所精神保健福祉業務における連携の視点と課題」</p> <p>松岡 信一郎 和歌山市保健所 (和歌山県)</p> <p>「中核市保健所の長期的戦略～メンタルヘルスはみんなの仕事～」</p> <p>松山 とも代 豊中市保健所 (大阪府)</p> <p>保健所は地域住民の健康を支えるために設置されており、精神保健の第一線機関として位置づけられています。各自治体の規模や地域性により、精神保健福祉に関する取組や課題は多種多様で、悩みを抱えたまま、日々の業務の「やりがい」に目を向けられない現状におちいていませんか？全国の精神保健福祉活動の取組を通じて、精神保健福祉業務の醍醐味や悩み・思いを語り合ことができるよう分科会を企画しました。</p>

分科会3 (定員135人)	会場 8階 会議室 802 12:30 ~ 15:00
	<p>実践交流「孤立する当事者・家族。多機関・多職種チームで支える精神保健アプローチ～私たちがつながる！住民とつながる！地域が変わる！～」</p> <p>運営スタッフ 全精相地域包括ケアワーキンググループ</p> <p>この分科会は、生きづらさを抱える母子世帯、再飲酒を繰り返す方、8050世帯など福祉サービスだけでは支えられない事例をもとに、各地域の実践を互いに語り、学びあう実践交流の場として企画しました。個別支援を通じた地域課題の抽出方法や解決に向けた動き、「地域包括ケア体制」のあり方について、精神保健の視点から考える機会としたいと思います。全精相ならではの「協議の場」から地域づくりのヒントをみつけましょう！</p>

分科会4 (定員135人)	会場 1階 大ホール 9:30 ~ 11:30
	<p>実践報告「ガイドラインから考える私たちの専門性」</p> <p>報告者 花村 智紀 静岡市保健所 (静岡県)</p> <p>伊藤 大士 大阪府こころの健康総合センター</p> <p>中村 倫也 静岡県立こころの医療センター</p> <p>「措置入院の運用に関するガイドライン」と「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」の実践報告を行います。</p>
	<p>会場 1階 大ホール 9:30 ~ 11:30</p> <p>シンポジウム</p> <p>座長 金田一 正史 (千葉県習志野健康福祉センター)</p> <p>シンポジスト 上記報告者</p> <p>退院後支援ガイドラインに記載されている趣旨については、本来は当然に実施していると思われそうですが、一定の手続き等が示されました。今一度、「私たちの専門性とは何か？」と立ち返る機会になればと企画しました。</p>

懇親会「つれもて語ろう 和歌山の夜」

日時 1月26日(土)
17:30～

場所 JR 和歌山駅周辺

会費 ¥6,000円



写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

会員総会のご案内

日時 1月27日(日) 15:15～
会場 1階 大ホール

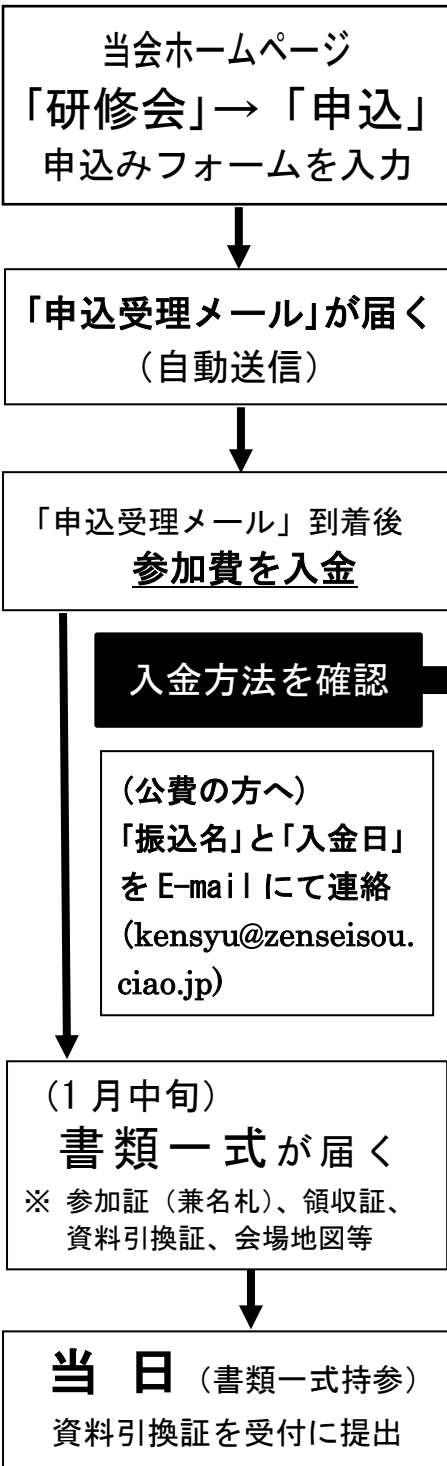
会員の方はご参加ください。

参加できない場合、別途送付した総会案内に同封の委任状をご提出ください。

申込み方法

「[当会ホームページ](#)」→「[研修会](#)」→「[申込](#)」からお申込みください。
検索→「[全国精神保健福祉相談員会](#)」（<http://www.zenseisou.com>）

☆ 申込みの流れ ☆



★ 申込みに関する留意事項

- ・申込み後2, 3日を過ぎても「申込受理メール」が届かない場合は、研修会事務局へE-mail (kensyu@zenseisou.ciao.jp)にてご連絡ください。分科会は、定員により希望に添えない場合があります。
- ・申込は1回のみ行い、訂正がある場合は事務局へご連絡ください。

貴機関所定書式(請求書・領収書・債権者登録書等)での対応が必要な場合は、返信用封筒(切手貼付)を同封の上、必要事項をすべて記入した書類を下記へ郵送してください。内容確認後、押印して返送します。ホームページにて参考書式をダウンロードできます。

【郵送先】〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2

「 埼玉県立精神保健福祉センター内

全国精神保健福祉相談員会 研修会事務局 宛 」

★ 参加費等の振り込みに関する留意事項

- ・振込手数料は申込者のご負担となります。

公費で参加される方へ

- * 参加者と振込名の照合のため、必ず研修会事務局あてに「振込名」と「入金予定日」をE-mailでご連絡ください。
- ・公費の方は、研修会終了後の入金も可能です。
- ・入金予定日は、概ねで結構です。

自費で参加される方・懇親会へ参加される方へ

- ・申込み後、10日以内に入金してください。

★ 申込不受理・キャンセルの取り扱いについて

- ・定員に達し参加できない場合又は参加要件を満たさない場合は、メール又は電話にて連絡の上、返金いたします。
- ・申込者の都合によるキャンセルはできません。事後入金の方や懇親会申込者も同様です。不参加の方には、後日資料を送りますので研修会事務局へE-mailにてご連絡ください。

★ 入金後から当日まで

- ・参加証等書類一式を申込者に送付し、参加決定といたします。
- ・参加受付できない方には事前に連絡いたします。
- ・当日、資料引換証を受付に提出し、資料をお受取りください。

振込先 ゆうちょ銀行 店番038 普通口座 口座番号 6761441

名義 全国精神保健福祉相談員会 (ゼンコセイシホクフクシカウダシイカイ) ※会長名は含みません
ゆうちょ銀行(同行): 記号10360 番号67614411 (名義は上記と同じ)

申込受付期間 平成30年11月19日(月)～平成30年12月21日(金) 必着
注意! 定員に達し次第、締め切ります。